

日本語学会第 158 回大会 プログラム

会 長 田窪 行則
大会運営委員長 山越 康裕
大会実行委員長 庵 功雄

期 日：2019 年 6 月 22 日（土）・23 日（日）

会 場：一橋大学国立キャンパス（〒186-8601 東京都国立市中 2-1）

Tel/Fax：042-580-9005 / 042-580-9005

E-mail：isaoiori@courante.plala.or.jp

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定場所以外禁煙です。

.....

— 第 1 日（6 月 22 日） —

10:00–12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。）	東 1 号館 1305
12:00–17:10	受付	東 1 号館 学生ホール
13:00–17:40	口頭発表（詳細は 2–3 頁にあります。）	東 1 号館
18:00–20:00	会員懇親会	東プラザ 2F カフェテリア

— 第 2 日（6 月 23 日） —

9:30–13:00	受付	東 1 号館 学生ホール
10:00–12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。）	東 1 号館
11:30–13:00	ポスター発表（詳細は 4 頁にあります。）	東 1 号館
13:10–13:50	会長挨拶，開催校挨拶（一橋大学大学院社会学研究科長 稲葉哲郎），日本語学会学会賞授賞式，会員総会	兼松講堂
13:50–16:50	公開シンポジウム 「アспект研究の新しい視座としての「テイル」研究—日本語学から一般言語学への貢献—」 <司会> 庵 功雄（一橋大学） <登壇者> 庵 功雄（一橋大学） 趣旨説明 森山卓郎（早稲田大学）「事態のアスペクチュアルな意味と『テイル』」 定延利之（京都大学）「エビデンシャリティから見た『テイル』」 庵 功雄（一橋大学）「日本語教育文法から見た『テイル』」 指定討論者：岩本遠億（神田外語大学）	兼松講堂

シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（6月22日(土) 13:00-17:40)

	A会場（東1号館 1101） 司会：[1-2] 小林 正人, [3-4] 沈 力, [5-7] 千田 俊太郎	B会場（東1号館 1201） 司会：[1-2] 下地 理則, [3-4] 白田 理人, [5-7] 佐々木 冠
13:00-13:30	[A-1] XIE Tao On the negative contraction of Old English verbs	[B-1] 横山 晶子, 富岡 裕 琉球沖永良部語の衰退要因に関する一考察
13:40-14:10	[A-2] Fumikazu NIINUMA Sar(u) expression and transitive/intransitive alternation in Kesen	[B-2] ヤロシュ アレクサンドラ 宮古語来間方言における日琉祖語の痕跡
14:20-14:50	[A-3] 李 慧 日本語における「V1+V2」型複合動名詞の意味構造に関する一考察	[B-3] CARLINO Salvatore 北琉球沖縄語伊平屋方言の動詞・形容詞について
15:00-15:30	[A-4] 中村 早百合 分散形態論における日本語の語彙的複合動詞	[B-4] 占部 由子 南琉球八重山語石垣島大浜方言における焦点標識とモダリティ
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 杉浦 滋子, コーブルアン ワチャラチャイ タイ語関係代名詞 <i>thii</i> 使用に関わる制約	[B-5] 松岡 葵 言語類型論的観点から見た宮崎県椎葉村尾前方言における形容詞経験者構文の格標示
16:30-17:00	[A-6] ヌネス・コスタ・ハイッサ 日本語とブラジル・ポルトガル語における時間を表す複文節に見られる主節時基準現象の実態—話し言葉コーパスにおけるトキ節・Quando節を中心に—	[B-6] 小川 雅貴 局所的有生性による日本語の能動態・受動態選択：東京方言・東北方言・近畿方言の比較
17:10-17:40	[A-7] 角田 太作 談話の能格性は文法の能格性を形成するか？	[B-7] 鴨井 修平 方言データから見たアスペクト形式の派生機能

	C会場（東1号館 1202） 司会：[1-2] 尾谷 昌則, [3-4] 小磯 花絵, [5-7] 金 善美	D会場（東1号館 1301） 司会：[1-2] 成田 広樹, [3-4] 越智 正男, [5-7] 伊藤 さとみ
13:00-13:30	[C-1] 佐久間 篤 東京方言における心理動詞と主格属格交替現象について	[D-1] 塩原 佳世乃 インターフェイスから見る Left Branch Extraction
13:40-14:10	[C-2] 美馬 未歩 動詞の記述性における Act-Nucleus と Troponymy	[D-2] Hisatsugu KITAHARA, Samuel D. EPSTEIN, T. Daniel SEELY Labeling under minimal search: Determining “single- vs. multiple-specifier” configurations
14:20-14:50	[C-3] 鄭 若曦 現代日本語の受身文における「ニ」と「カラ」の交替—構文と動詞の吸引度の観点から—	[D-3] Shao-Ge WANG, Hideki MAKI The N'-deletability and the non-availability of genitive subject in the Tujia language
15:00-15:30	[C-4] 佐野 真一郎 話し言葉の経年変化の定量的記述—「昭和話し言葉コーパス」「日本語日常会話コーパス」「日本語話し言葉コーパス」を用いて—	[D-4] YAMASHITA Hideaki On the ellipsis of subject- and object-oriented adverbs in Japanese
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] 鄭 柄岐 事態の発生を扱う副詞—「事態発生副詞」と「非事態発生副詞」を中心に—	[D-5] Ting-Chi WEI Two types of echo answers in Chinese
16:30-17:00	[C-6] 尹 聖樂 日韓における事実条件を表す形式の対照分析—「たら」と「-essteni」を中心に—	[D-6] 長田 詳平, 胡 亜敏, 若松 弘子 日中語の動詞反復応答に関する理論的考察
17:10-17:40	[C-7] 森 創摩 条件構文素性に基づいた条件構文の分析	[D-7] 于 一樂 中国語の非典型的目的語構文における名詞の役割に関する一考察

	E会場 (東1号館 1302) 司会：[1-2] 内海 敦子, [3-4] 中村 涉, [5-7] 林 範彦	F会場 (東1号館 1304) 司会：[1-2] 小野 創, [3-4] 中谷 健太郎, [5-7] 宮地 朝子
13:00-13:30	[E-1] 熊切 拓 アラビア語チュニス方言の受動構文の意味	[F-1] Akitaka YAMADA Embedded moods in Japanese
13:40-14:10	[E-2] 中村 涉 反リンキング構文としての非人称構文: <i>swarm</i> 交替の場合	[F-2] Yurie HARA, Mengxi YUAN Composing paratactically associated items: Intonation and particles
14:20-14:50	[E-3] 蝦名 大助 カムサ語における名詞抱合の概要	[F-3] Satoshi ITO, Koji SHIMAMURA, Ayaka SUGAWARA Manipulating π -geometry of (pronominal) <i>zibun</i> in Kansai Japanese and its relevance to imposters
15:00-15:30	[E-4] 渡部 直也 日本語における拗音の表出制限	[F-4] Satoshi TOMIOKA, Jooyoung KIM Bare quotatives as embedded speech acts
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 岡本 進 フィジー語の叙述所有について	[F-5] 田村 早苗 タメニ節への助詞ハの付与の意味論的分析
16:30-17:00	[E-6] 藤原 敬介 マルマ語における精巧表現	[F-6] 山泉 実 極性疑問が潜伏している名詞
17:10-17:40	[E-7] 倉部 慶太 ジンポー語の音節内部構造	[F-7] 安井 翼 統語と音のインターフェイスにおける日本語否定極性項目の認可

	G会場 (東1号館 1414) 司会：[1-2] 堀 博文, [3-4] 広瀬 友紀, [5-7] 川崎 典子
13:00-13:30	[G-1] 谷川 みずき 実験データから捉え直すノルウェー語の主体移動表現
13:40-14:10	[G-2] 鈴木 唯 トルコ語における過去形の反復義務構文
14:20-14:50	[G-3] 太田 真理, 大関 洋平, アレック・マランツ 形態素への分割は左紡錘状回・下側頭回の活動を選択的に変化させる：日本語動詞の脳磁図研究
15:00-15:30	[G-4] 中野 陽子, 岸本 健太 日本語の派生語の視覚的処理における書記形態分解と漢字活性化
15:30-15:50	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 上田 由紀子, 内堀 朝子 日本手話における非手指副詞, 動詞, 目的語の語順について
16:30-17:00	[G-6] 矢野 羽衣子, 松岡 和美 愛媛県大島宮窪手話における一致動詞の空間使用
17:10-17:40	[G-7] 松岡 和美 日本手話における時制と連動した非手指アスペクトマーカ어의予備的研究

■ワークショップ（6月23日(日) 10:00-12:00)

東1号館 1201	[W-1] クラウドソーシングを用いた言語分析 企画者・司会者: 浅原 正幸
	[W-1-1] クラウドソーシングによる形態論情報付与付き辞書整備 岡 照晃
	[W-1-2] クラウドソーシングによる述定・装定の用法分析 西内 沙恵
	[W-1-3] クラウドソーシングによる語義調査 加藤 祥
	[W-1-4] クラウドソーシング結果の可視化手法と統計処理 浅原 正幸
東1号館 1202	[W-2] 構文ネットワークの可能性と課題 企画者・司会者: 尾谷 昌則
	[W-2-1] ル動詞を構文論の観点から見直す 尾谷 昌則
	[W-2-2] 感情感覚形容詞の構文間ネットワーク：話者認識タイプを中心に 井本 亮
	[W-2-3] 古代日本語ラル構文のネットワーク 志波 彩子
	[W-2-4] 経路句を伴わない非選択目的語使役移動構文：英語動詞 wipe の場合に注目して 貝森 有祐
東1号館 1414	[W-3] 計算心理言語学 一概要と展望一 企画者・司会者: 折田 奈甫, 大関 洋平
	[W-3-1] 形態:レキシコンと形態処理の計算モデル 大関 洋平
	[W-3-2] 統語: Computational models of sentence-level language comprehension Douglas ROLAND
	[W-3-3] 意味: カテゴリ文法・意味計算・文処理 窪田 悠介
	[W-3-4] 談話: 代名詞選択の形式化から計算心理言語学を考える 折田 奈甫
	[W-3-5] 自然言語処理: 「柔らかく」なった自然言語処理 松林 優一郎

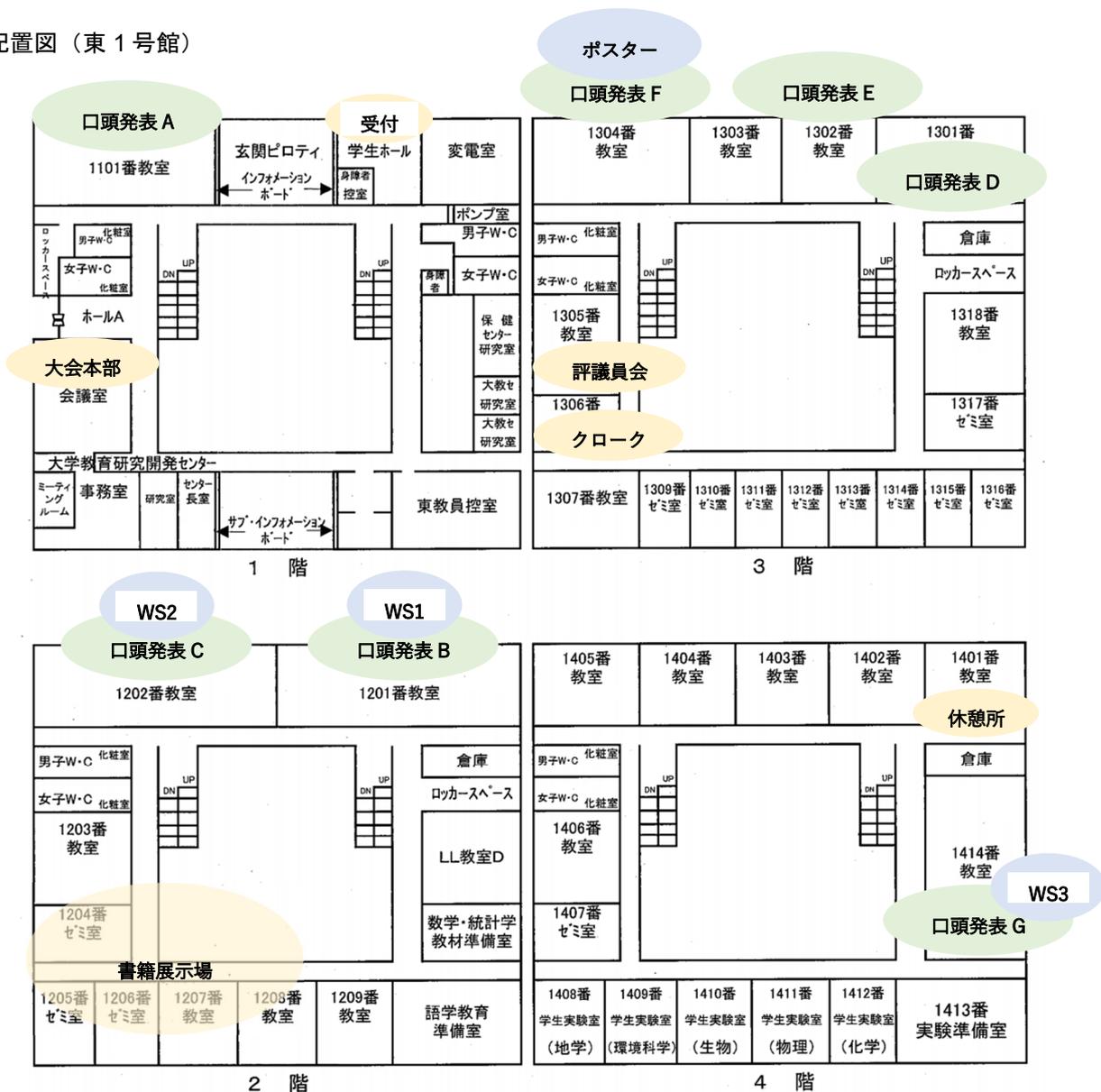
■ポスター発表（6月23日(日) 11:30-13:00)

東1号館 1304	[P-1] 安東 明珠花, 庵 功雄, 岡 典栄 日本手話と日本語における自他の対応—対照言語学的研究に向けて—
	[P-2] 五十嵐 小優粒 ペルシア語の書き言葉における非人称可能文—tavānestan と šodan の異同—
	[P-3] 古澤 純 「動詞性名詞+ダ」の時間性：「発表者は先ほど会場に到着でした」は言えるか？
	[P-4] 松浦 年男 福岡方言における音韻句の形成要因の比較
	[P-5] 発表者の事情により発表取り消しとなりました

◆一橋大学国立キャンパス 建物配置図



◆会場配置図 (東1号館)

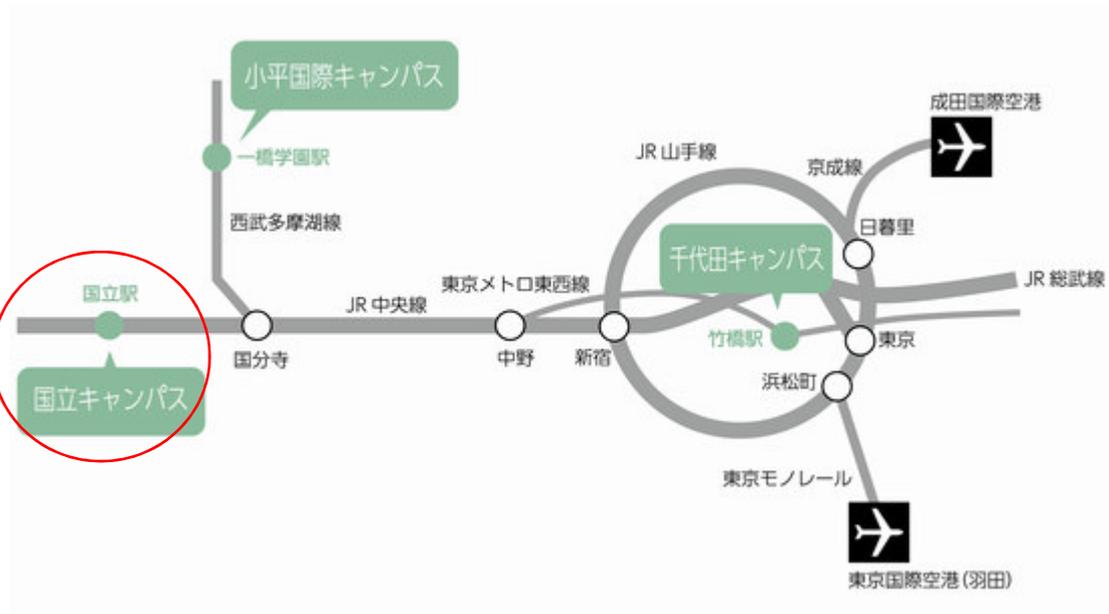


※ 懇親会会場は、東1号館の隣にある大学生協 (東プラザ) の2階です。

※WS = ワークショップ

大会会場（一橋大学国立キャンパス）へのアクセス

★JR 中央線国立駅まで



★JR 中央線国立駅・JR 南武線谷保駅からキャンパスまで



【一橋大学国立キャンパス】

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

JR 中央線 国立駅 下車

・南口から徒歩約 10 分

JR 南武線 谷保駅 下車

・北口から徒歩約 20 分

・国立駅行バス約 6 分「一橋大学」下車

お知らせ

- ◆大会会場でのインターネットの利用について
第158回大会会場では docomo 他 の公衆無線サービス（サービスに加入している場合）と eduroam が利用できます。学内 LAN の利用が必要な方は大会受付にお申し出ください（ただし電波がつながりにくい場所もあり、利用者数にも制限があります）。予稿集は必ず事前にダウンロードしてお越しください。
- ◆大会参加費と予稿集
大会参加者は大会受付にて参加費（一般会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、一般非会員 3,000 円、学生非会員 2,000 円）をお支払いの上、名札をお受け取り下さい。予稿集は大会の 1 週間前より学会ホームページから電子版予稿集（PDF ファイル）がダウンロードできるようになりますので、事前にダウンロードを済ませてから会場にお越し下さい。紙媒体での予稿集頒布は行っておりませんのでご注意ください。
- ◆出張依頼状
所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、6月7日（金）（必着）までに学会事務支局までお申し込み下さい。
- ◆大会期間の昼食について
大学内の食堂は、土曜・日曜ともに営業していません。キャンパス周辺の飲食店、およびコンビニエンスストアをご利用ください。
- ◆会員懇親会の申し込み
会員懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。
- ◆保育室の設置
保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、2019年5月31日（金）までに保育室担当宛（lsj.childcare@gmail.com）に御連絡下さい。
 - ・利用可能時間：6月22日（土）12:45－18:00、6月23日（日）9:50－16:50
 - ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円
- ◆手話通訳などについて
手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。受付締切は5月17日（金）です。
- ◆書籍展示
書籍展示は、東1号館1204、1205、1206、1207、1208の各教室で行う予定です。
- ◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー
前回大会に続き、今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っていません）。なお、大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込み下さい。
- ◆クロークの設置
クロークを設置します。東1号館1306番教室です。
- ◆資料展示コーナー
会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

次回大会予告（2019年秋季大会：第159回大会）

場 所：名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり

（〒456-8612 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号）

日 程：2019年11月16日（土）・17日（日）

公開シンポジウム，口頭発表，ワークショップ，ポスター発表

研究発表募集：**学会ホームページから発表申し込みができます。**

・発表応募締め切り **2019年8月20日（火）（必着）**

・採否通知 **2019年9月中旬**

* 宿泊施設の混雑が予想されます。宿泊を必要とされる方は早めの予約をお勧めします。

問い合わせ先

日本語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacocos.com